

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：まなび教室

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	多機能型のため、短時間で少人数での受け入れとなり、スペースは確保できている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいし身体を十分に動かせるスペースがあると思う</li> <li>・うちの子は寝返りをしたりころころ動くので広々として物にぶつかりにくく安全だと思う</li> </ul>	整理整頓を心掛け、スペースの確保を行う。
	2 職員の適切な配置	管理者不在、資格者不足のため、配置基準を満たしていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所するたびにいろんな先生がいて、専門の先生なのかわからない</li> <li>・集団療育になってから訓練を受けていない ・十分である</li> <li>・職員人数など、形態が変わってから分からないことが多い</li> </ul>	配置基準を満たすことが必須。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚支援の導入、活動に応じて衝立などを使用し、特性に応じた環境を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解力があまりない子どもでも分かりやすい環境である</li> </ul>	引き続き環境整備を整える。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	朝、夕に掃除を行い、フロアの清潔に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るくて床にはマットも敷いてあって、お座りが安定しない子どもも安心できる</li> <li>・清潔で心地よく過ごせる</li> </ul>	清潔を保てるように心がける。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	PDCAサイクルが実施できているわけではないが、現状の把握と業務改善へ向けた解決策は随時相談している。		PDCAサイクル(目標設定と振り返り)を取り入れたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていない(同会社内の他店舗からの職員の出入りは多い)。		会社と相談し、外部評価の実施に努めたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内研修の参加、外部研修の案内をしている。		外部研修に参加していきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントに伴い作成している。		継続的に実施していく。面談の機会を設ける。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別と集団両方の特徴を踏まえた個別支援計画の作成に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・的確な計画が作成されている</li> <li>・本人のためのカンファレンスを開いてもらってありがたい</li> <li>・OTの時間をきちんと決めて実行してほしい</li> <li>・細部まで分析された支援内容である</li> </ul>	継続的に実施していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	実施している。		継続的に実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 （続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施している。	・計画に沿った支援である	継続的に実施していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	実施している。		継続的に実施していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日(日曜日)に音楽教室の実施。お家のご都合に合わせた送迎の調節をしている。	・土曜日はいつも同じプログラムなのでいろいろしてほしい ・月刊予定同じ表記でも内容が分かりづらい ・本人があまり変化を好まないためどちらともいえない ・常に工夫されたプログラムである	継続的に実施していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	大まかな活動内容は曜日によって決まっているが、詳細は日によって変えている。		土曜日のプログラム内容を検討する。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ホワイトボードや朝のミーティングを通して実施。		その日の役割分担について変動があれば随時情報を共有していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	当日に行う時間は少ないが、随時実施している。		記録の振り返りを随時行いたいと考えている。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日記録している。見直しや改善策を検討することが課題。		記録の振り返りを随時行いたいと考えている。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	実施している。		職員間での共有を徹底することが課題	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	随時実施している。		継続的に実施していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	実施している。		継続的に実施していく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	社内の看護師と連携している。		継続的に実施していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて随時実施。		継続的に実施していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じて随時実施。		継続的に実施していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	案内を配布している。		継続的に実施していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内での活動のため交流はないように思う</li> <li>・機会はないが、特に交流を希望していない</li> <li>・他害など兼用者とのかわりは不安のため参加していない</li> </ul>	今後ご希望があれば検討していきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施できていない。		ご希望や、機会があったら参加を検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	丁寧に説明できるように心がけている。	・書類はきちんともらえている ・分かりやすい説明であった	継続的に実施していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	丁寧に言う時間がとれないこともあるが、面談などの時間を設け丁寧に説明できるように心がけている。面談は全員に実施できていない。	・そういう機会があったのかもしれないが覚えていない ・支援計画を見ながら説明があった ・毎回当日の指導内容がしっかり連絡帳に書かれている	面談の機会を設ける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	得に親子教室において、必要に応じて随時実施するように心がけている。	・相談した際に一緒に考えていくことがそうなのか？家族支援プログラムが何か分からない ・連絡ノートのやり取りや送迎時に話や相談ができています ・訓練の間はできています	継続的に実施していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	口頭・連絡帳でのやりとりで情報共有を心掛けている。	・個別療育の際にスタッフと話をする時間があったのでよかった ・連絡帳だけでは限界がある ・連絡帳や送迎時に状況を伝え合っている	面談の機会を設ける。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談があれば助言を行い、丁寧に対応するように心がけている。	・話は聞いてもらっている	継続的に実施していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施できていない。	・お友達が誰なのか親のことも分からない 親や子どもの年齢云々によっては必要性は感じない 特になくてもいいと思う	今後ご希望があれば、保護者同士の交流の機会が持てるように検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	店舗や社内で窓口を設けている。	・契約書に対応先が記載している ・みかんと事業所は同じなのに、やり方が全く違うので困ることが多い ・苦情を言ったことがないため分からない	苦情に対する対応先の説明を継続的に実施していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	障がいに応じた対応を心がけている。	・連絡帳や送迎時になどに心配りがある	継続的に実施していく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事予定等を月ごとに配布、随時お手紙でお知らせを作っている。	・毎月予定表が配布されている	継続的に実施していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	場所を決めて保管している。	されていると思う	継続的に実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	実施している。	・緊急時対応マニュアルが配布されている ・プリントを渡されただけである	今後は説明を丁寧に行う。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	実施している。	されている	今後も定期的の実施していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	実施している。		継続的に実施していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束の必要がある場合は、必要に応じて説明するように心がけている。		契約時などにより丁寧に相談、説明できるように心がける。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	指示書の確認、アレルギーチェック表の作成を行っている。		継続的に実施していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成、回覧している。		継続的に実施していく。